

〔北東アジア政策懇話会2019〕

＜日本から見た中国の「一帯一路」政策＞

一帯一路構想を取り巻く国際観光 と「観光立国ニッポン」

＜目次＞

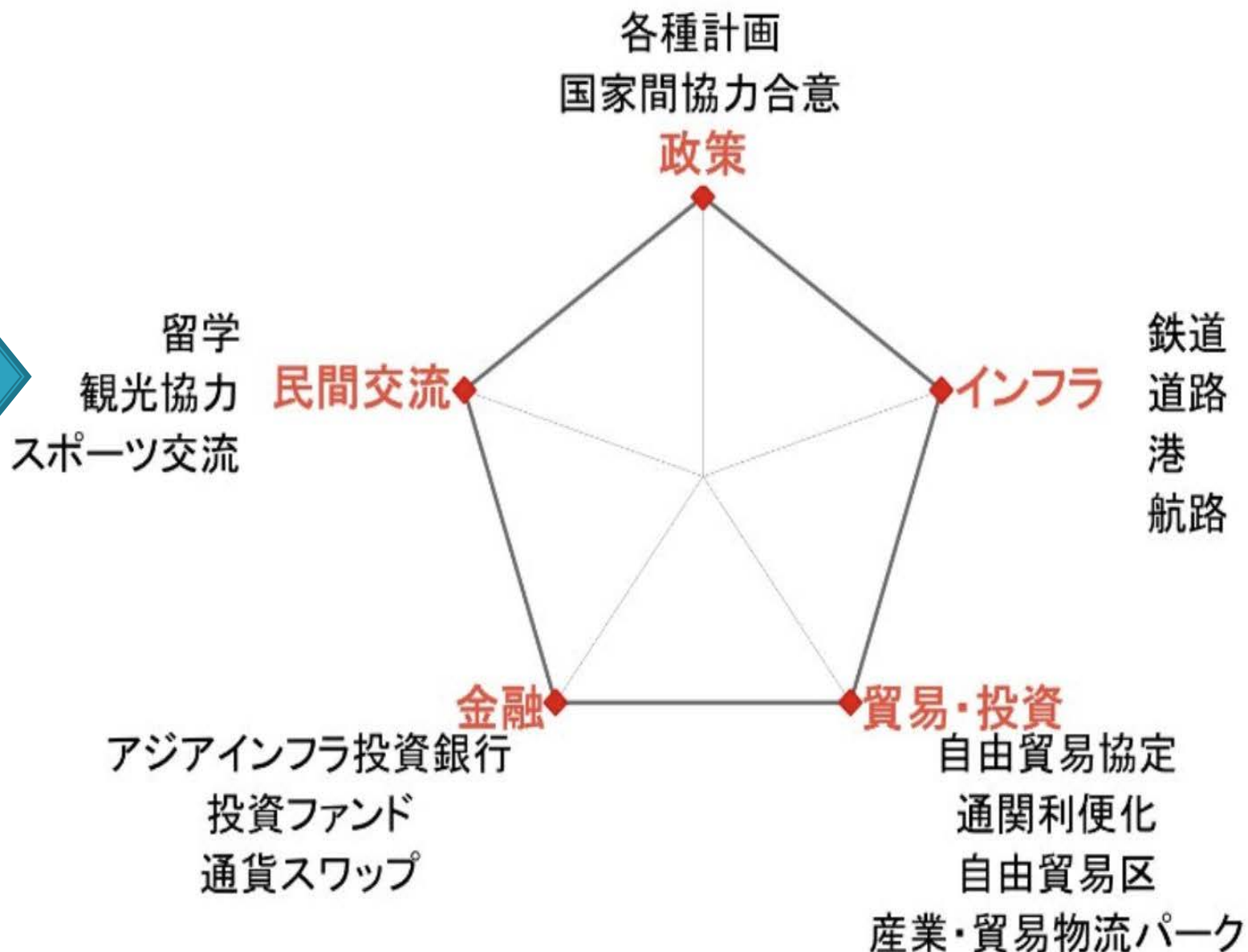
- 1.はじめに**
- 2.一帯一路構想を取り巻く「中国の国際観光」**
 - ・「中国人の外国旅行」vs.「外国人の中国旅行」
- 3.懸念が広がる「観光強国・中国」**
 - ・世界に伸びる中国人客 vs. 弊害をもたらす中国人客
- 4.中国観光が大きな影響を及ぼす「観光立国ニッポン」**
- 5.一帯一路構想に“対抗”(or “協力”)する日本の観光戦略**
 - ・インバウンド偏重⇒「TWOWAY TOURISM(双方向交流)」
 - ・「観光開発・振興」面での協力・支援
- 6.結びに**

鈴木 勝

大阪観光大学名誉教授
(元・桜美林大学教授)
NEANET理事

(1)はじめに 「一帯一路構想における5つの協力分野」

「民間交流」↓「観光」
(本論での政策検討)

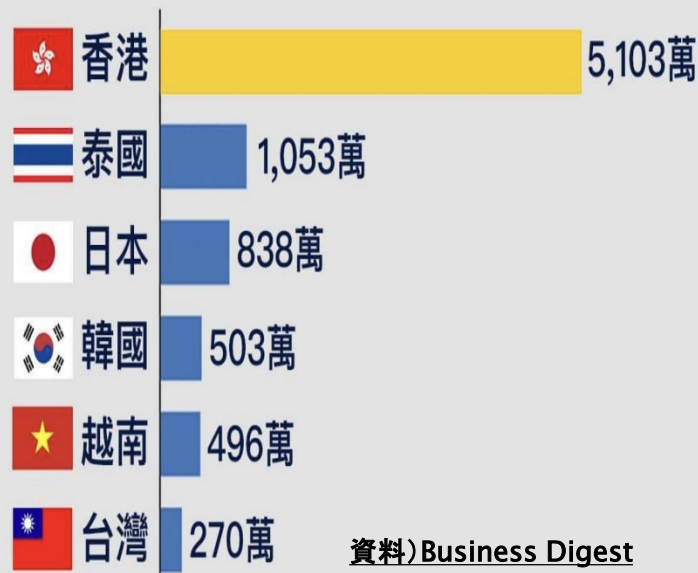


2. 一帯一路構想を取り巻く中国の国際観光①

☆「中国人の外国旅行」 (資料：公益財団法人 日本交通公社「旅行年報2019」)

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
①人口(万人) *1	130,756	134,091	134,735	135,404	136,072	136,782	137,462	138,271	139,008	139,538
②中国人出国者数(万人) *2	3,103	5,739	7,025	8,318	9,819	11,659	12,786	13,513	14,273	16,199
③出国率(%) (②÷①)	2.4	4.3	5.2	6.1	7.2	8.5	9.3	9.8	10.3	11.6
④訪日中国人旅行者数(万人) *3	65.3	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	2.1	2.5	1.5	1.7	1.3	2.1	3.9	4.7	5.2	5.2

2018年中国旅客入境前六名



資料) Business Digest

例1.「赤い観光」で中国人客を取り込め！「革命」「共産主義」に行く。プーチン大統領お膝元で長蛇の列(エルミタージュ美術館)」「(ロシア)

例2.「中国人観光客が急増する目的地トップ10」「北アフリカのモロッコが1位(2017年末)」

例3.中国、一帯一路でカンボジアに投資加速！「第2のマカオ誕生か」

例4.「空港・橋建設」&「中国人観光客の急増」(モルディブ)

例5.大型報奨ツアー(インセンティブ)「1万2000名(2019年5月)」(スイス)

2. 一帯一路構想を取り巻く中国の国際観光②

1]「中国人の外国旅行」活発化(一帯一路沿線国)

☆「中国は、今後さらに沿線国との観光協力を強化し、『一帯一路』観光業のモデルチェンジ・アップグレードを加速し、『一帯』観光がユニークな観光にモデルチェンジするよう促し、文化体験・探検旅行・ビジネス旅行などの新たな旅行業態を大々的に発展させる方針。また、『一路』観光のリゾート休暇旅行へのアップグレードを推進し、クルーズ船の母港、遊覧船の埠頭、海洋テーマパークの建設を段階的に推し進める」
(人民網日本語版2017.5.19)。

▶☆「中国は沿線諸国に観光客のべ1億5千万人と観光消費2千億ドル(約22兆6820億円)を送り込むと同時に、沿線諸国から観光客のべ8500万人が中国を訪れ、観光消費約1100億ドル(約12兆4751億円)が中国にもたらされる」
(人民網日本語版2017.5.15)。注)当期間:第13次5カ年計画(2016～2020年)

▶2]「中国政府による観光活発化手法の1つ」

「中国・〇〇国観光年」キャンペーン(ビザ緩和策・航空便増加)

「中国・スイス観光年(2017)」 「中国・オーストラリア観光年(〃)」

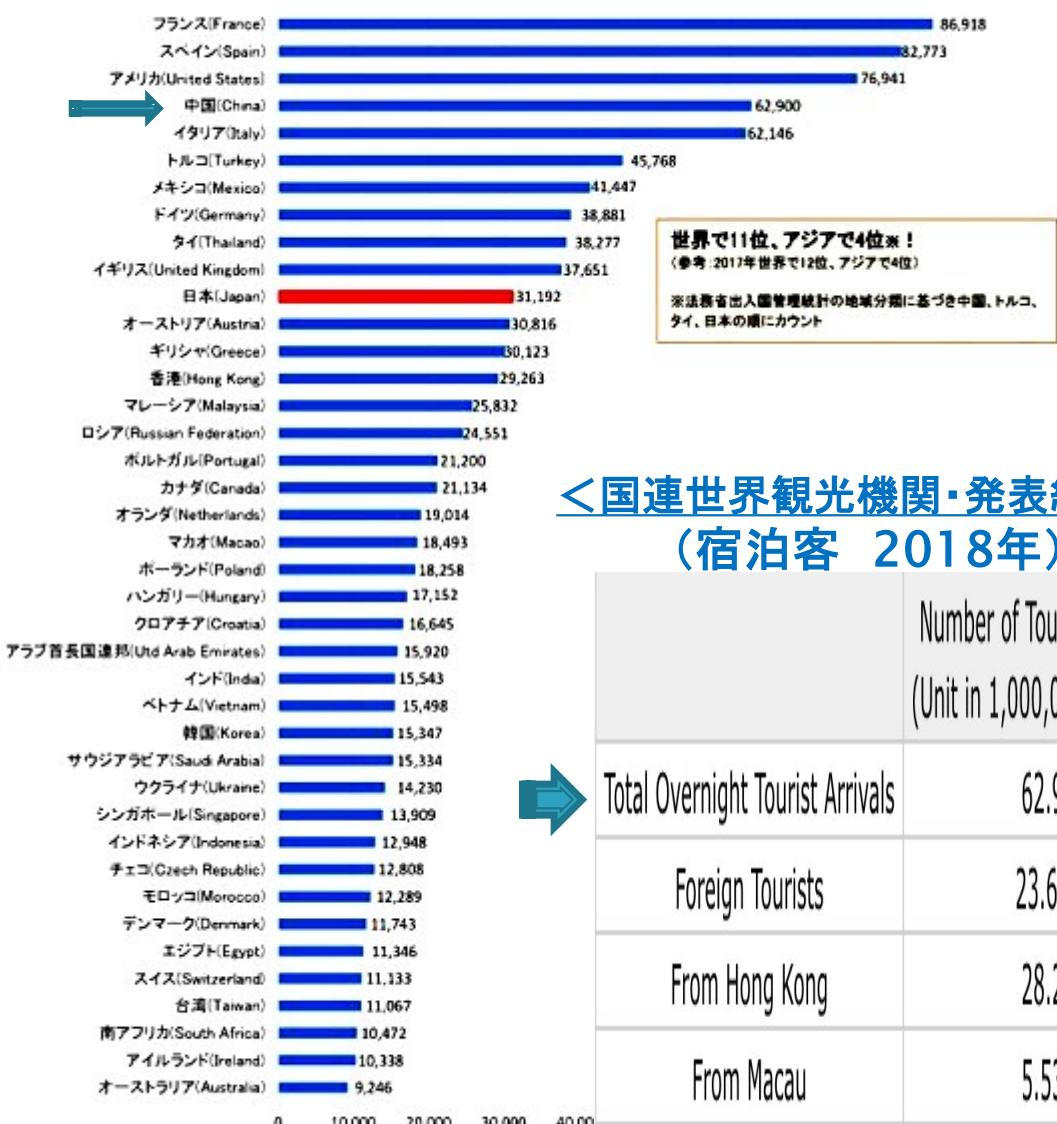
「中国・デンマーク観光年(〃)」 「中国・ニュージーランド観光年(2019)」



北京・王府井の書店

2. 一帯一路構想を取り巻く中国の国際観光③

世界各国・地域への外国人訪問者数(2018年 上位40位)
Comparison of Inbound Tourism by Country/Area for 2018



「外国人の中国旅行」

伸び悩む訪中外国人！

- ・外国人観光客にとっての魅力・受入態勢が低下 (価格・ソフト面不足・混雑)
- ・マーケティング&PR不足
- ・大気汚染、環境の悪さ。
- ・政治外交的な理由(日中関係)

(原因)

<国連世界観光機関・発表統計> (宿泊客 2018年)

	Number of Tourist Arrivals (Unit in 1,000,000 persons)
Total Overnight Tourist Arrivals	62.9
Foreign Tourists	23.64
From Hong Kong	28.2
From Macau	5.53
From Taiwan	5.53

(含:日帰り客 2018年)

	Number of Tourist Arrivals (Unit in 1,000,000 persons)
Total Tourist Arrivals	141.2
Foreign Tourists	30.54
From Hong Kong	79.37
From Macau	25.15
From Taiwan	6.14

資料)JNTO2019

資料)STATISTA.com

3. 懸念が広がる「観光強国・中国」①

中国海外旅行先の決定・
中国政府による圧力

例1: (韓国)「中国からの観光客激減で韓国経済が大打撃
終わらない『THAAD』“報復”」「中国が“禁韓令”の一環で
韓国への団体旅行を禁じてから2年が経過した」

(2019.4月産経新聞)

「済州島に下船拒否した中国人観光客3400人、ごみ
2トンを捨てて出港」(2017. 3月中央日報日本語版)

例2: (パラオ)「中国怒らせた南洋の楽園パラオの苦悩、中
台の板挟みに」「中国は昨年、この『南洋楽園』への観光
ツアーを事実上禁止した」(2018. 8月ロイター)

例3: (台湾)「蔡英文政権が発足した2016年以降、経済的
締め付けとして、台湾への観光客を抑制してきた」
(2019. 8月JIJI.com)

3. 懸念が広がる「観光強国・中国」②

[問題点]「国外漏出(リーケージLeakage)」

＜“超”格安ツアーのからくり＞

例1.「ゼロドル・ツアー(“無料”中国人ツアー)」(タイ)

(zero-dollar tourism:ツアー参加者がタイ滞在中に宝石店、皮革製品店、絹製品店などに連れて行かれ、高値で商品を買わされる仕組み)

★「ゼロドル・ツアーの中国人観光客は来ないで」(マレーシア2019)

例2.「中国人観光客年率4割増

—地元重金落とさぬ中国人観光客」(バリ島)

例3. 華僑・華人に加え、「新華僑」(ここ数年、中国本土から東南アジアに移り住む)の存在。観光客に土産ビジネスを展開。

例4.「中国人日本ツアーはメイド・イン・チャイナである(含:クルーズ)」(日本):「舞台は日本でありながらすべてを取り仕切っているのが中華圏の人々」(白タク・違法民泊/ガイド/通訳・法外コミッション手配)

[問題点]

例1.中国人観光客のマナー問題etc.

(金銭的・雇用)側面

相手国への経済的

社会・環境的側面

4. 中国観光が大きな影響を及ぼす「観光立国ニッポン」

「日本⇄中国」の双方交流は、最も重要なパートナー

中国への日本人旅行者数(アウトバウンド)

& 日本への日本人旅行者数(インバウンド)

事項 年	日本人⇒中国 (人)	前年比増 (%)	中国人⇒日本 (人)	前年比増 (%)
2004	3,334,255	47.9	616,009	37.3
2005	3,389,976	1.7	652,820	6.0
2006	3,749,100	10.6	811,675	24.3
2007	3,977,479	6.2	942,439	16.1
2008	3,446,117	▲13.4	1,000,416	6.2
2009	3,317,459	▲3.7	1,006,085	0.6
2010	3,731,200	12.5	1,412,875	40.4
2011	3,658,200	▲2.0	1,043,246	▲26.2
2012	3,518,200	▲3.8	1,425,100	36.6
2013	2,877,533	▲18.2	1,314,437	▲7.8
2014	2,717,600	▲5.6	2,409,158	83.3
2015	2,497,657	▲8.1	4,993,689	107.3
2016	2,587,440	3.6	6,373,564	27.6
2017	2,680,033	3.6	7,355,818	15.4
2018	-	-	8,380,034	13.9
2019 (1-9)	-	-	(7,402,600)	(14.8)

(資料) 日本政府観光局 JNTO, 中国国家旅游局

(注) 上記数値には華僑および香港・マカオ・台湾同胞は含まず。

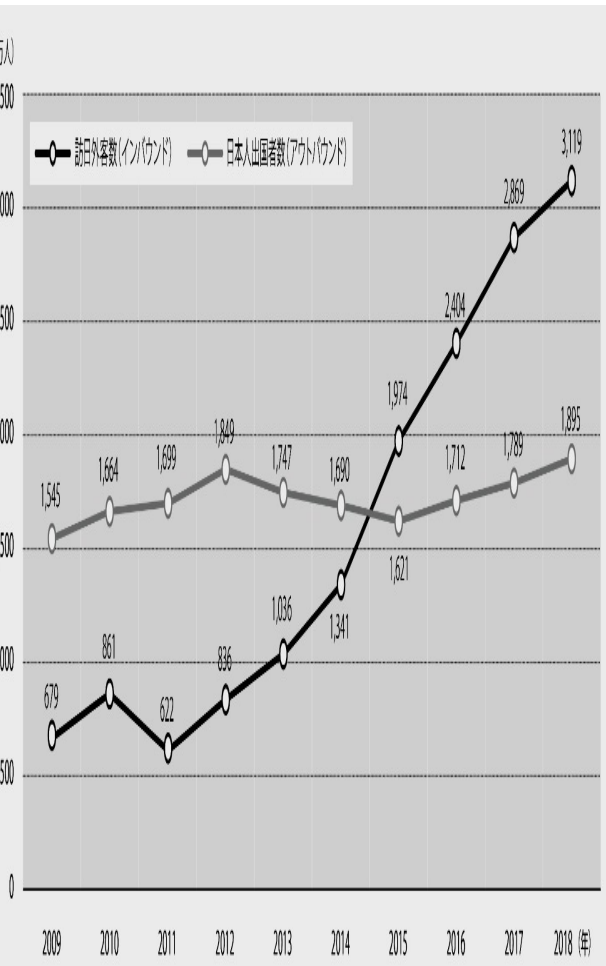
5. 一帯一路構想に“対抗” (or “協力”)する日本の観光戦略①

<戦略1>「TWOWAY TOURISM(双方向交流)」の推進

“ジャパン・ファースト”⇒TWOWAY TOURISM戦略を!

「訪日外客数・日本人出国者数の推移」

(資料：公益財団法人日本交通公社「旅行年報2019」)



「主要国・地域の出国率」

(資料：数字が語る旅行業JATA 2019・JNTO/UNWTO)

国・地域	出国者数 (千人)	伸び率 (%)	人口 (千人)	出国率 (%)
日本	⇒ 17,889	4.5	126,748	14.1
韓国	24,837	19.2	51,454	48.3
中国	⇒ *135,130	*5.7	1,390,080	*9.8
台湾	15,655	7.3	23,571	66.4
香港	12,128	7.5	7,410	163.7
タイ	*8,204	*20.8	69,095	*11.9
シンガポール	9,889	4.4	5,612	176.2
インドネシア	*8,340	*2.0	261,989	*3.2
インド	*21,872	*7.3	1,316,896	*1.7
オーストラリア	10,535	5.7	24,764	42.5
米国	87,703	9.3	325,886	26.9
カナダ	33,056	5.6	36,657	90.2
英国	⇒ 72,315	2.1	66,051	109.5
フランス	*26,483	*-0.6	64,801	*41.0
ドイツ	*90,966	*8.6	82,713	*110.5
イタリア	*30,849	*6.2	60,589	*50.9
スペイン	*15,405	*6.9	46,333	*33.2
ロシア	39,629	25.2	143,990	27.5

5. 一帯一路構想に“対抗” (or “協力”)する日本の観光戦略②

＜現在、進行中の国際観光形態＞「観光」とは・・・。

1)「観光客」

TOURIST+BUSINESS TRIP+VFR(親戚・知人訪問)etc.

2)「“物見遊山” & “ショッピング”観光⇒NEW TOURISM」

- ・「SUSTAINABLE TOURISM」・「ECOTURISM」・「HERITAGE TOURISM(世界遺産)」・「産業観光・産業遺産(近代的/歴史的)」
- ・「MICE(ビジネス上の)国際会議・見本市etc.」



「観光振興の重要性と意欲の高まり」

「単なる資源国家」 ⇒ 「資源国家＋観光資源国家」へ

例:シルク・ビザSILK VISA(移動の自由:中央アジア5カ国)

例:「新観光法」(ウズベキスタン2019年7月制定/10月施行)

例:「中央アジア＋日本」“観光etc.行動計画”(2019年5月)

例:ロシア政府・・・ビザ免除・緩和政策(対韓国・日本etc.)

5. 一帯一路構想に“対抗” (or “協力”)する日本の観光戦略③

<戦略2>「観光開発・振興」の協力・支援

「強力に、継続的に、海外&国内で！」

[その1] 国交省(観光庁etc.)、外務省、JICA、日本アセアンセンター、ロシア日本センター、民間企業などによる「観光客受入れシステム構築・ノウハウ交換」の支援拡大！

[その2] 「観光系大学教員」・「実業界観光プロ」の活用
「日本のまちづくり」  「海外の観光地での協力・支援」
「海外大学での観光講義」

[その3] 「大学・専門学校の在日留学生」の観光教育を強力に推進し、観光プロを養成。

「観光立国ニッポン造り」⇒「(帰国後)自国の観光活性化」

6. 結びに

「陸&海・シルクロード沿線諸国」の“観光面での実力UP”

⇒“観光強国・中国”に左右されない「沿線諸国」のために、支援を！
「日本の観光政策」が、この方向に進めば、世界から歓迎を受ける。

最近の行脚「ロシア観光講義」

(サンクトペテルブルグ⇔カムチャッカ半島)

右写真)サハリン国立大学⇒



ご清聴をありがとうございました。

鈴木 勝(大阪観光大学名誉教授)

E-mail: masarusuzuki0308@gmail.com

<http://tourism-nippon.com>